



H23. 10. 7. №1291
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

東日本大震災により、被害を受けられました皆様に心からお見舞い申し上げます。1日も早く復興されますように、お祈りしております。

1. 全国漁船安全操業推進月間 —10月から1カ月間—

平成23年度全国漁船安全操業推進月間が全国一斉に10月の1ヶ月間展開されます。これは、船舶の海難及び人身事故に占める漁船の割合が最も多いため、漁業水産関係団体の連携による漁船事故防止に向けた取り組みを一層推進していく必要があり、漁業者及び漁業関係者に向けて、漁船安全操業に関する漁業者意識の向上、ライフジャケット着用率の向上による人身事故発生の減少、安全航行・安全操業の徹底による漁船海難発生等の減少を目的として、効果的な事故防止キャンペーンとして実施されるものです。漁船関係者の皆様は、ライフジャケット着用とメンテナンスの促進や気象情報の利用と津波への備えを呼びかけるポスター等をご覧いただき、事故防止等への意識の向上に努めましょう。

2. 本年度のマダイ・ヒラメ放流事業終わる —漁業振興基金—

(公財) 県漁業振興基金では、マダイとヒラメの放流事業を関係漁協、県(水産資源課、水技研)、市町の協力のもとに、本年度も県内各地で実施しました。

マダイは、以下のとおり県内各地で中間育成した稚魚をそれぞれ各地域へ放流し、その沖出しサイズは20～30mm、放流サイズは60～70mmとなっています。

▽伊豆地域 6月上旬から7月下旬 網代、田子、内浦で中間育成
7月22日から8月5日 沼津～下田～網代の伊豆半島各地へ 計778千尾

▽榛南地域 4月下旬から7月上旬 地頭方で中間育成
8月23日から26日 吉田～御前崎の榛南各地へ 計261千尾

▽中部地域 5月上旬から6月下旬 小川で中間育成
6月29日 田子の浦～大井川の中部各地へ 計133千尾

また、ヒラメは、浜岡原発停止の影響で、地域栽培推進事業による生産・放流のみが行われ、5月下旬から6月中旬にかけて、吉田～御前崎の榛南各地に90千尾を放流し、放流サイズは60mmとなっています。

3. 平成23年度 第4回天草共販入札会開催

本会では、9月14日 天草共販事業の第4回入札会を、伊豆漁協(本所)において開催しました。第4回の入札会では、第3回と同様に伊豆漁協仁科支所や同下田支所須崎地区の天草が中心に集荷されました。

入札会の結果、総取扱金額及び平均価格は次のとおりとなりました。

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

▽入札数量: 9,152kg (367本/25kg) ▽取扱金額: 12,121,477円 ▽平均単価: 13,245円 (10kgあたり) ▽最高価格: 須崎(あらめ) 21,280円 (10kgあたり)。

第4回までの取扱累計は、数量51,583kg、本数2,068本(前年比5,568.5kg減、223本減) 取扱金額66,431,237円、平均価格12,879円(同496,260円増、1,342円増)となりました。<参考>次回第5回入札会の開催予定日は、10月19日(水)です。

4. 平成23年度サクラエビ秋漁の操業を決定 —県桜えび漁業組合—

県桜えび漁業組合(上野嘉之副組合長)では、9月5日 県水産会館において役員会を開催し、本年度サクラエビ秋漁の操業期間と休漁日を次のとおり決定しました。

▽操業期間: 10月25日(火) 晩～12月26日(月) 晩

▽休漁日: 10月29日(土)、11月・12月の各土曜日、
11月2日(水)・22日(火)、12月22日(木)の合計12日間

なお、秋漁を前に「生産技術研修会」を10月21日(金) 由比港漁協、10月20日(木) 大井川港漁協でそれぞれ開催します。

5. ふじのくにおさかなやさん大賞作品表彰 —県おさかな普及協議会—

県おさかな普及協議会(荒川邦夫会長)では、短時間で簡単に作れるイカやタチウオを使った料理のアイデアを競うコンテスト「ふじのくにおさかなやさん大賞」の受賞3作品を決定しました。9月17日には静岡市駿河区のあざれあで表彰式を行い、各部門の受賞者に表彰状と記念品を贈呈するとともに、受賞者による作品の調理や試食も行われました。

▽イカ部門大賞「イカす!カラフルだんご」寺田真理さん(浜松市立高2年)

▽タチウオ部門大賞「ふわふわ タチウオロール」田中みにさん(榛原高2年)

▽特別賞「うまいカバーガー」大里麻綾さん(浜松市立高1年)

県おさかな普及協議会では、受賞した3作品のレシピカードを作成し、地元産の魚を使った簡単にできるアイデア料理として県内外に広く普及していきたいとしています。

6. トラフグ漁が解禁 —初競りで活気—

遠州灘のトラフグ漁が解禁となり、10月2日初水揚げが行われました。浜名漁協における水揚量は約0.8トン(前年2.9トン)、平均単価約6,200円(同4,450円)と前年より水揚量が大幅に減少したため、高値で取引されました。水揚げされたトラフグは、全国各地に出荷される一方、地元の館山寺温泉の旅館などでも取り扱われます。

7. 民主党静岡県連・農林水産部会へ要請

去る9月22日午後、県議会議員大池幸男農林水産部会長、小山展弘衆議院議員ら民主党議員が出席した民主党静岡県連の農林水産部会との意見交換会に本会会長らが出席し、国への施策要望として以下の2項目の要望書を提出しました。

1. 漁業用燃油にかかる免税措置の恒久化について 2. 総トン数20トン以上の漁船の機関検査制度について

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう